図画工作科学習指導案（本次案）　６学年

単元名『12 年後のわたし』

平成３０年９月４日（月）　第３校時
授業会場　６年東組教室
６年東組　男子 19 名　女子 16 名計 35 名
指導教官
授業者

１　**本時の位置**（全６時間扱い中の第２時）

前時：　将来の自分について想像することを楽しみ、立体に表す構想を立てる。

次時：　構想に基づいて針金で体のしんを作る。

２　本時の主眼

将来の自分を立体に表すことを楽しみにした子どもたちが、構想に基づいて針金で体のしんを作る場面で、針金のしんの形や表し方を工夫することを通して、人の体の動きを表現することができる。

３　**指導上の留意点**

・ICT を使って体の動きを参考にする。

４　**本時の展開**

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	１手本を見る。	・何これ？何してるところ？ ・わかった！走ってるところ！ ・あ！マイクスタンドとギターだ！ ・私の考えたやつ絶対無理だ～。 ・ちゃんと作れるかな？ ・やっぱ作品変えようかな？	5	○　テレビ画面に自分の作った体のしんをいろんな角度から映す。 ○　前回集めたワークシートを配る。
	学習問題　構想に基づいて針金で体のしんを作ろう。			
展開	２体のしんを作る作業にとりかかる。	・黙々と取り組む。 ・えー難しい ・針金固くない？ ・誰かペンチ貸してー。 ・ちょっとこのポーズしてみて！	30	○子どもたちの作業の様子を見てまわり、アドバイスする。。 ・針金が固い→ペンチを使う。 ・うまく立たない→軸でバランスをとる。 ・何をしているか伝わらない→小道具を作る。 ・人の関節や骨の曲がり方が難しい→実際にそのポーズをしてみる。
	学習課題　針金のしんの形や表し方を工夫すればよさそうだ。			
末	３友達の作品を参考にする。	・テレビ画面を見る。 ・こんなの作ったんだ。 ・まだ全然出来上がってないよ。 ・体の軸を安定させるのが難しかった。	10	○友達の作った作品の写真を撮って、テレビ画面に映し、難しかったところや工夫したところを聞いてみる。 ↓ 板　書 評価：人の体の動きを表現することができる。